

リオ州の治安情報18号
邦人犯罪被害の発生

1. セントロ地区における旅行者の強盗被害

4月28日(日)正午頃、邦人観光客が単独でセントロ地区を観光していたところ、自転車乗車の男に鉄パイプで脅され、財布を強奪されました。

週末のセントロ地区は、場所によってほとんど人通りがなく、徒歩の移動が適さない場所が多いため、不用意に徒歩で移動しないようにしてください。

2. フラメンゴ地区におけるひったくり被害

4月30日(火)午前9時頃、在留邦人が知人とともにフラメンゴ地区セナドール・ベルゲイロ通りを徒歩で移動中、前方から接近した自転車乗車の黒人の若者に、すれ違いざまにネックレスを引きちぎって奪われました。被害者に怪我はありませんでした。

通り慣れた道で、昼間であっても、犯罪者は常に標的を物色していることを認識し、注意を怠らないよう心がけてください。また、少しでもリスクを低減できるよう、なるべくアクセサリーや貴金属を身につけないなど、配慮してください。

3. コパカバーナ地区における出張者の路上強盗被害

5月4日(土)午後7時頃、邦人出張者がコパカバーナ地区の Rua Ministro Viveiros de Castro で、黒人の若者グループにつきまとわれて脅迫され、現金と携帯電話を強奪されました。被害者は簡素な服装であり、路上で携帯電話を使うなどの行為はしていなかったにもかかわらず、標的とされました。

2ヶ月前にも現場付近で邦人の強盗被害があり、犯人グループは付近にある高級レストランを訪れる日本人客を標的にしていた可能性があります。

コパカバーナ地区の Praca do Lido 付近では素行不良者が多数徘徊しており、深夜に限らず注意が必要です。人通りの少ない通りに所在するレストラン等に行く際は、目的地の前まで直接タクシーで行くなどの対策を講じてください。